



尾倉中 DX 通信



令和8年2月19日(木) Vol.7 文責:DX主任 河野 智子

尾倉中学校「子ども主語の学び（学びの転換）」の取組

2月16日(月)、教育課程講習会にて、尾倉中の今年度の取組を報告させていただきました。以下に示すのは、そのスライドの一部です。もし機会があれば、先生方にも全て紹介させていただきたいと考えております。また、何かお質問等ございましたら、いつでもお声がけください。

1 今年度「子どもが主語」の学びのために

「**深い学び**」につながる、効果的なICT活用や、教具のデジタル化、思考を深めるデジタルコンテンツを単元の中に意図的に組み込み、
さらに「**教育DXを強化**」することを目標にした。

2 尾倉中学校の課題

【課題1】
生徒自らが選ぶ、自由な学び方の実現。
【課題2】
自由な学びの場の確保、環境づくり。

3 学びの2つの柱

① **個の課題解決に向けた授業のしゅくみ**
② **学び方・空間の自由度**
(どこからでも勉強できる。選択の自由。)
(オンラインで、教室をとびこえて。)

主体的に課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢

「子どもが主語」の学び

4

課題解決に向けて、学び方を選択する。
(一人で・友達と・教師と・学び合いたい仲間と)

<メリット>
①自分で考えた上で問題を解いて、答えを知るので、納得しやすい。
②躓きを発見できる。
③納得できない部分を質問できる。

最後にキュピナで知識の定着をはかる!

5

学び合いたい相手と

友達と

一人で

デジタル教科書から

教師と

6 GoogleClassroomで手順を確認する。

動画や資料を活用する。

7

SURから、教室にいるみんなと同じように授業に取り組み、他者参照し、共有している姿。

スライド、スプレッドシート、ドキュメント、Figmaで他者参照したり共有したり、発表したりする。

質問や意見交換はチャットで

8 〇学びの場での共通の確認事

1. 評価・観点の説明
2. 各学び方の進め方
3. 自己調整場面の設定
4. ポートフォリオによる評価